

## 「近くで見えてくれる安心感」

ユリウスには、6年生の夏期講習からお世話になりました。父親の急な転勤が決まり、受験勉強を継続するか悩んでいた時期に、同じ境遇にいたお友達から、受験までユリウスで苦手科目を一緒にがんばろうと勧めて頂き、受験へのモチベーションを立て直す気持ちでドアをたたきました。

すぐに目に見えて結果が出た訳ではありませんでしたが、授業のフォローを中心に過去問・苦手単元に至るまで、細やかな学習計画と丁寧に指導頂き、受験に向けてコツコツ丁寧に積み上げていく事が出来たかと思えます。

実際、入試が始まり、本人が直面する緊張、不安、不合格という絶望に対して、親は励ます以外力にならない無力感に苛まれる中、担当の先生が、電話で丁寧に話を聞いて下さり、いつでもいいのでユリウスに来てくださいと、駆け込み寺のような安心感を親子共に与えて頂きました。先生と話した後に笑顔になって出てきた娘の顔を見て、近くで見えてきてくれた先生の励ましが何より力になったと思うと、個別指導の良さを改めて実感しました。

本人が思い描いた結果でなくとも、全てを一緒に受け止めて共に戦って頂いたスタッフの皆さんには感謝しかなく、ユリウスで培った力で合格を勝ち取れたと思います。この経験が娘の今後の人生の糧となり、自信となることを願います。

Kさん 保護者

## 「苦手科目を楽しく通塾」

ユリウスに入塾した経緯は、苦手科目の算数を克服するためです。本人からの希望でした。ユリウスに通塾しはじめて、算数が解ける楽しさを味わい、通塾する日が楽しみな様子でした。また、ユリウスの先生は娘と年が近いので、メンタル的な部分で大きく支えて頂きました。

そのため、受験当日におびえることはなく、堂々と会場へ向かうことができました。

ユリウスの先生の指導及びサポートを引き続き続けてもらいたいという本人の希望で、中学へ行ってもお世話になることにしました。個人的に細かく指導して頂けるので、親としてもとても安心です。これからも様々な学習方法を学んでほしいと思います。ユリウスの先生方、ありがとうございました。そして、また今後ともよろしく願いいたします。

Mさん 保護者

## 「過去問完成講座から直前対策へ」

3年夏から4年まで日能研のMクラスに在籍していましたが、授業だけでは理解できず、家でやり直してクラスを保っていたことや、家庭の事情などもあり退塾。5年から6年夏までは通信教育で勉強しましたが、夏に解いた過去問が合格最低点までマイナス40点で、過去問対策をお願いするため、ユリウスにお世話になることにしました。以前体験授業を受けていたことや、志望校に一番受かっている塾が日能研で、そのデータも持っていることも決め手でした。

志望校決定は4年のときです。通学可能範囲（40分位まで）の中から何校か選び、説明会や学園祭に

参加してみたところ、富士見中学を本人が気に入り、親もこの子にあった学校だと感じました。その後、説明会やサマースクール、学園祭に何度も足を運び、いくたびに志望度が高まりました。

ユリウスでは、受験当日と同じように4教科の問題を解いて、その後解説してくれる過去問対策講座だけをお願いするつもりでしたが、算数の頻出単元に穴があることや、国語の記述、理科の計算問題など、まだまだ足りない点があることを指摘され、弱点補強も追加しました。そのおかげで12月ごろからは合格者最低点をこえ、1月には合格者平均点に届くようにもなりました。

併願校である開智所沢中学校の24年特待Bの問題を室長先生にしっかりと解説してもらったところ、25年の第1回目入試に、ほぼそっくりな問題が出ており、完璧に答えられたことが功を奏したのか、初日に合格をいただきました。(開智中も同時合格)

開智所沢は第二志望だったため、あとは第一志望の富士見に全力投球することにしましたが、2月1日までしばらく時間が空いたため、子どもはだらけてユーチューブをみまくっていたため、親子ゲンカがたえませんでした。この頃、子どもの不安をあおるような言葉は厳禁と聞いていましたが、「それじゃ落ちるよ!」と毎日怒鳴っていたような気がします。だらだらした雰囲気でも2月1日を迎えました。熱望した富士見に初日に合格をいただきました。二月の勝者で、入試に送り出す我が子に感動的な言葉をかけるシーンがありましたが、うちはそんな言葉をかけると逆に緊張しそうなのでやめておきました。

効果があったと思う勉強法は、下剋上算数を毎日解いたことです。これで富士見の大問1は全問正解する実力がつきました。100日分の問題を2周したあと、2回目に間違えた問題はもう一度解き直しました。2周目はダラダラやっていたので、10分の制限時間で全問正解ならごほうび100円と言ったら張り切って解いてました。

2月1日前日にユリウスから速達が届き、担当していただいた先生方からの寄せ書きが書かれていました。本人も嬉しく思ったようでした。これから新生活が始まりますが、受験生活で培った勉強習慣をなくすことなく、楽しんでいけたらと思っています。

Kさん 保護者

## 「大変な受験勉強を乗り越えるサポート」

ユリウスに入室したきっかけは、5年生からスタートした日能研の授業(特に算数)について行くのが難しく、これでは合格どころか受験勉強を続けていく事が無理だとようやく気づいたからです。

東京の中学受験事情や学校にも詳しくなく、ネットや本、周りの人にいろいろ聞きましたが正解がわからず疲弊していました。結果... 学校情報や受験を乗り越えるアドバイスを、沢山して頂き、いろいろありましたが志望する学校に進学することができて本当にほっとしています...

中学受験の内容は、親もどんな事をやっていて、どこが(子供が)理解していないのか?どこを復習すれば良いのかなどわかって、抜けている所を、個別指導で教えて頂くと、より効果が発揮するのかなと思いました。

大変大変と聞いていましたがその通りでした(笑)でも、チャレンジしていなかったら、親子共にこんなに勉強する時間を持たなかつたらろうし本気で一つの事に取り組む子供の姿も見れなかつたらろうし、私よりも断然メンタルが強いと気づかなかつたらろうし... づくしで大変貴重な経験になりました!!

Mさん 保護者

## 「三者、かく戦えり」

中学受験を迎えるにあたって、この三者（本人、親、塾）が一丸になって、目標に進んでいくことが、とても大切だと改めて感じました。

受験生の成績は右肩上がりではなく、実際には乱高下するもので、息子に関しては、秋ぐらいから12月の直前期の偏差値は、夏の時よりも5以上下がってしまいました。

ここで問題になるのは、志望校である。このままでいくのか、それとも現状に合わせた志望校に変更するのか？これに関しては、本人の意向を確認し後者を選択しました。

その時点で、12月末変更後の志望校の過去問に取り掛かったのは、年末年始からでした。同時並行で塾には、その旨を伝え、そこから対策、応用問題を多く含む、以前の志望校より基本的な問題を確実に正解する現在の志望校の方が、息子には合っていたのか1月は「ケアレスミスは0にする！」を課題にし、受験勉強に取り組みました。過去問の点数もミスを減らすことで、上がっていき、息子の自己肯定感も高まっているように思えました。

来る、2月1日、受験を終えての息子の一言「実力を出せたと思う！きちんと見直しもできた！」その言葉はとても力強く感じました。

その日の合格発表、ドキドキしながらも発表を確認、無事に合格をいただくことができました。あの時の家族の喜びは、何事にも代えられないものがありました。すぐに塾に報告、塾からは「おめでとうございます！しかし、彼の実力はこんなものではないです！もしよろしいければ、明日のチャレンジ校の過去問対策をしませんか？」とお声をかけていただき、初めは当日やり切った感で、後ろ向きだった息子も先生と直接話しをすると、「今から塾に行く！！」とやる気になって、明日の受験校の対策をその日の夜に行っていたいただきました。

2月2日も受験を終え、なんと合格！！進学校は、2日に合格をいただけた学校にしました。

受験期間での、塾の力強さは想像を超えて素晴らしく、先生方の言葉が無ければ、チャレンジ校への合格はなかったと思いました。少人数制の強みを活かした、各々の受験生へのきめ細かいご対応、期間中での受験生への声掛け、やる気の出し方、受験校への対策どれを取っても安心のできるものでした。ユリウス高津教室で、3年間学べて良かったと心から思いました。先生方、本当にお世話になりました。

この体験記が、これからの受験生への、参考になれば幸いです。

Kさん 保護者

## 「家庭とユリウスと連携した合格」

我が家の中学受験は常に“のんびり屋さんで遊ぶことが大好きな小学生の男の子”にいかにして勉強に取り組んでもらうかという難題との戦いでした。結局の所その難題への明確な答えはありませんが、できるだけ一緒に学校見学に行ったり、受験期には先生から本人にやる気につながる言葉を直接かけていただくことで、連携していい結果を生み出すことができましたと思います。

過去問はできるだけ親が色々な志望校の傾向だけでも見ておくことをおすすめします。基礎的な問題をしっかり高得点すれば合格できるのか、またはできる問題を6割位得点すれば合格できるのか等、同じ偏差値帯の学校でも違いがあり、我が子が得意な問題を見極めることは親ができる最大の手助けだと

思いました。塾でコツコツと基礎をつんでいたお陰で直前期の家庭学習では苦手な国語の読解に時間を投下でき、受験期には自信を持って解けるレベルに達しました。また、たくさんの過去問にチャレンジした結果、実際に別の志望校で解いた過去問と同じ論説文が2月1日の受験校で出て、余裕を持って解き、合格をいただくことができました。

親も初めての中学受験に不安がたくさんありましたが、先生はその不安を受け止め、時には科学的なデータに基づき、合格の可能性を示し続けてくださいました。我が子はシャイな性格なのですが、ユリウスの先生方、スタッフの方々、チューターの先生方は大好きで、信頼し、あこがれているようで、ひそかに自分も教育者という小さな夢を持ち始めたようです。本当にありがとうございました！！

Kさん 保護者

## 「家庭での勉強をユリウスでサポート」

日能研には小3の2月から入塾しました。上の子が6TMに在籍していたから自分も・・・と初めは意欲もあったのですが、小5に入ると算数の内容が難しくなり、栄冠を自宅でやろうにも親子バトルが絶えなかったため、ユリウスの入会を決めました。国語は好きでしたが、社会理科は中々定着せず、親がつきっきりで一緒に暗記していたので、算数の宿題だけでもユリウスで見てもえたことは本当にありがたかったです。

なかなか落ち着いて学習に取り組めないタイプの子なので、先生方も席に座らせるだけでも大変だったのでは・・・？と心配でしたが、毎回の授業の内容や態度等、詳しくレポートに書いてくださるので参考になりました。

入試直前には本人もテレビやYouTubeなど自分なりに制限し始め、ユリウスでも受験校に似た傾向の過去問に取り組ませて下さり、親にはできないことだったのでありがたかったです。

こんな状態でどこかの学校に受かるのだろうか、と不安もありましたが、日能研以外でもユリウスの面談で詳細な成績データを出して下さい、面談をしていただけたことで、親の不安がだいぶ解消されました。

親だけでは煮詰まってケンカになることも多いと思います。個別で見てもらえるありがたみを実感しました。

Oさん 保護者

## 「最後までやりきった受験での成長」

ユリウスには小5の夏期講習からお世話になりました。個別塾からの転塾でしたが、これまで通っていた塾で習っていなかった単元は講習前に補講でフォローしていただきスムーズに授業を受けることができました。先生方は個々にも手厚く指導して下さる少人数制や、季節講習ごとに行われるクラス分けは娘にとっても合っていたのだと思います。

入塾と同時に様々な学校の見学も始め、その中で娘が入学を熱望する学校が見つかりました。そこからは自主的に先生に質問したり、苦手な分野の課題を出してもらったりと親の目からも受験生らしくなり、目標に向かって頑張り始めました。受験をするにあたり、家族で決めたことは一つ。「合格してもし

なくても、やり切ったと思える受験にする」ということ。

1月の埼玉2校から受験スタート。この時はまだ親子で受験の始まりを実感できずに模試の延長のように思っていました。しかし、会場は模試とはまるで違う緊張。その空気に動揺したのか最初の受験で不合格。初めて経験する不合格に親子で落ち込み動揺する中、先生に励ましていただき、すぐに教室で試験の振り返り、次への対策・心構えを伝授していただき、気持ちを前向きに次に挑みました。2日後に受けた2校目はなんとか合格。ほっとしたのと同時に、先生が仰っていた通り悪い結果にとらわれず突き進めば道は開けると、ここで受験中の気持ちの立て直し方を身をもって学びました。

2月、第一志望校目指しての受験本番。複数回受験の機会がありましたが、全日不合格。埼玉の受験で学んだといっても、切望している学校からの不合格が続くというのは本当に辛かったです。行きたかった学校へ行けないとわかった後も、別の道へと切り替え、最後まで前を向き試験に挑む娘は、これまで見てきたどんな姿よりも強く頼もしく大きく見えました。親の無力さを感じるとともに、その姿を見られただけで受験した意味があったと思えたことを覚えています。

我が家の受験最終日。前日にはその学校の模擬試験や傾向と対策など受験期間中とは思えない濃密な時間を教室で過ごさせていただきました（これは受験中に頑張った1番の出来事として娘から今でも話題に上がります）。最後の試験が終わった時は、最高の解放感でした。この後の結果がどうであれ「精一杯頑張った、やり切った。」というのが親子の中にありました。我が家の受験開始時の目標は達成することができました。

帰宅後、見慣れない番号から着信が。電話に出ると不合格をもらい続けた第一志望校からの繰上げ合格の連絡でした。電話で説明を受けている最中、娘に向かって指でOKマークを作ると、何の電話かを感じ取った娘は喜びのあまり咽び泣きました。不合格でも流さなかった娘の涙。見ている私も胸がいっぱいになりました。

中学受験を振り返ると、合格をいただけたことは何よりの喜びですが、合否までの貴重な経験が子だけでなく親までも成長させてくれたと思います。

先生方には連日試験後に教室で振り返りや次回への対策を懸命にさせていただき、更には深夜の合格発表だったにも関わらず結果を見て電話をしてくて下さったり、次の試験へと向かう娘に早朝に激励していただいたりと学習面だけでなく精神面でも支えていただきました。先生方、スタッフの皆様、これまで支えていただき本当にありがとうございました。

Sさん 保護者

## 「先生との距離が近い塾」

人づてに「ユリウス高津校に通ってとても手厚かった」と聞きました。子供の性格にも先生との距離が近いほうが良いと思い見学後入塾しました。新4年生から入塾しましたが、もともと勉強の習慣がついておらず、学校の宿題すらできていない状態だったので、宿題がとても苦戦しました。

4・5年の頃は塾に行きたがらないことも多々あり、土曜日に補習を受けさせていただき大変助かりました。この際に教えてくださった先生がとてもやさしく丁寧に根気よく寄り添ってくださり、先生に会いたいがために通塾する状態でした。

6年の秋ごろに過去問を始めると、「試験形式ならやる気がする」と本人が言い出したので、宿題とい

う形ではなく「過去問→見直し」を繰り返す方法に切り替えたところ効果があり、ようやく基礎力がついてきた感じがしました。先生方が解答用紙にアドバイスや誉め言葉をびっしりと書いて返してくれるので親子ともに感激しっぱなしでした。

学校見学の時期では、私が「やる気ができるきっかけになってくれれば」という思いから通学圏内の学校をとにかくあちこち見学に連れて行きました。ただ、今となってはちょっと考えなしだったなあと思っています。娘はファーストインプレッションを大事にする性格だったので、最初の何校かは、校風などきちんと検討してから連れて行ってあげればよかったと思いました。そのせいで志望校決定時に親子で大いに迷走しました。お子さんの性格を加味して学校見学の計画を立てることをお勧めします……。

室長先生には感謝しかありません。

2/1 に午後に受けた学校の発表が 23 時の予定でしたが、遅れに遅れて 24 時過ぎ……。情けないことに緊張と疲れからパソコンの前で発表を待つ間に寝落ちしてしまい、先生からの電話で起きるという大失態。結果が不合格だったので、なんと 24 時半にお電話にて先生と日程作戦会議になりました。相談の結果、日程を変更し再受験し無事合格をいただいたので本当に感謝です。

中学受験は親子の絆が深まる一大イベントでした。試行錯誤して二人三脚で何度も転びながらゴールにたどり着けました。中学受験をしてよかったと心から思っています。

M さん 保護者

## 「小学生らしい生活を諦めない中学受験を」

最初から最後まで、それを貫きたいと思います。習い事を続けられること。朝 6 時に起き、夜 22 時に寝ること。小学校にはできる限り毎日通うこと。塾にも自分で行って帰ってこられること。

小学校 3 年生の 2 月から始まる受験生活は、子どもの成長期にもあたるので、心身ともに無理をさせたくないと思っていました。いろいろな考え方がありますが、精神年齢が中学受験をするには幼いままだった我が子にとっては、これでちょうどよかったと思っています。

ユリウス高津教室を選んだのは、まず家から近かったことがひとつですが、我が家の方針に合っていると思ったからです。また、我が子は質問をすることが恥ずかしいことだと思ってしまっていたところがあり、少人数制でわかっていないところを「見つけてもらえる」細やかな体制のところが良いと思ったからです。

通い始めてみると、子どものことを本当によく見てくださっていて、体調があまり思わしくない時には、スタッフの方から「いつもと様子が違うから帰った方がいい」と言ってくださったことがありました。普段どれだけ騒いでご迷惑をかけているのかと恥ずかしくも思いましたが、それだけよく見てくださっていることに、とてもありがたく思いました。また、そのような時には、オンラインで授業を受けられたのも大変ありがたかったです。

本人のやる気が上がった時には、それをしっかり掴んで個別対策を実施して下さり、頑張りを伸ばすようご指導くださいました。無理にやらせるのではなく、本人のタイミングに合わせて適切にご指導をいただいた事に、とても感謝しております。無理はさせないけれど、頑張りたい時にはしっかり頑張らせる、一番伸びるご指導をしてくださったと思っています。

子どもが志望した学校は、偏差値的にとても難しいところで、親としては「ここを志望校としていいの

か」という迷いがずっとありました。塾によっては、「絶対に無理だから志望しないでほしい」と言われることもあると聞いていたからです。ところがユリウスでは、ずっと「本人が納得できる中学受験を」とのことで、志望校とし続けることができました。結果としては残念ではあったのですが、本人のモチベーションの維持に繋がり、本番では過去問をやってきた中でも「今までで一番できた！」と満足できる受験となりました。

2月1日からは、毎日受験後に翌日の対策をしていただくことができ、とても心強かったです。他塾生が受けてきた第1回試験を元に、子が受ける第2回試験の対策をしてくださるなど、少人数制でありながらも、日能研のデータベースを利用していただける強みを感じました。実際にその対策でやったところが試験に出ていたようです。

室長先生には、受験スケジュールを考える際には何パターンも考えていただき、1月受験校については子どもの性格に合ったパターンを考えてくださるなど、他塾に通わせている親御さんから「そんなに何パターンも考えてくれて、よく見てくれてすごくいい先生だよ！」と聞いて大変ありがたく思いました。私も夫も中学受験を経験していない関西出身で、どんな学校があるかも何もわからない中で、子どものみならず親である私共にもよくご指導いただき、大変ありがたく思っております。

通塾する中で、いつか「塾行きたくない」「受験やめたい」と言い出す時が来るのかなと思っていたのですが、結局一度も言うことはありませんでした。それは一緒に通ってくれたお友だちと、先生方、スタッフの皆様のおかげだと思っております。心身ともに健康に、最後まで走り抜けるように支えてくださって、本当にありがとうございました。今後とも益々のご活躍とご発展をお祈りしております。

Mさん 保護者

## 「ユリウスでのポジティブな声かけ」

娘がユリウスに入塾したのは、4年生の秋頃でした。『少人数グループ授業』というスタイルが娘の性格に合っていると思ったからです。ユリウスにお世話になって、先生方やスタッフのみなさんが生徒一人一人をよく見て下さり、個性に合わせた指導や声かけをして下さっているのを感じました。娘は大人しい性格なので、自分から先生に話しかけたりはできないけれど、先生からのポジティブな声かけは娘の自信につながりました。少人数授業のアットホームな雰囲気も娘にとって居心地がよかった様です。

あっという間に6年生になり、娘は楽しんで通塾していましたが、苦手な社会と家庭学習の少なさが心配でした。先生に相談し、土曜日の自習時間に社会の見直しをすることにしました。家ではなかなか集中力が続かなかったのですが、塾では集中して勉強でき、点数もとれるようになりました。土曜日の自習室開放は、貴重な時間でした。

6年生の後半からは、土曜の午前中は過去問を解くという課題がありました。はじめはなかなか合格最低点に届きませんでしたが、繰り返すうちに徐々に最低点を越えられるようになりました。娘は模試の成績では最後まで志望校の合格圏に入ることができませんでしたが、志望校の入試問題が解ければ合格できると信じていました。

娘は4月から希望していた中学校に入学します。最後までポジティブに入試に取り組めたのはユリウスのお陰です。ありがとうございました。

Kさん 保護者

## 「大きく成長した受験生活」

3年生の半ばから意識し始めた中学受験。娘はかなりマイペースな性格で、好きなことにはとことん没頭するタイプ。高校受験を挟まずに6年間過ごすことができるというのがとても魅力的に感じて、最初は芸術分野に力を入れていそうな学校など考えていました。

そしてユリウスで学んでいくうちに「理科の楽しそうな学校に行きたい」と言い始めるようになって、もう少し理数系の強い学校にした方がいいのかも？と何校か見学に行ってみることに。

6年生の春にS校の体験に行ったとき、目をキラキラさせて「私ここがいい！」という娘。それからはほとんどブレることなくこの学校を第一志望として走り抜く事ができました。

ただ親の私たちは、悩んでしまうこともありました。5年生の夏休み明けに一度成績が下がり、そのあと持ち直してきた娘。思ったよりも頑張っていて成績も上がってきたので、その第一志望の学校よりももう少し上の偏差値を狙った方がいいのか、それともこのまま進めるべきなのか。どう声掛けをしていけばいいのか、6年生の夏頃は夫婦で何度か話し合いました。行きたい学校に向けて頑張っているのだからそのまま応援したい、でも偏差値も上がってきているので勿体無い気もしてしまう・・・他の学校も見学に行ったりもしましたが、娘の第一志望校はS校でした。そして、私たちもやっぱりS校に通う娘の姿が一番想像できるね、と思うようになりました。

そして残りの数ヶ月はやる気とメンタルを保つことに注力して、2月に無事合格をいただくことができました。

娘の中学校生活はこれから始まるわけですが、この3年間で受験を自分のこととして捉えるようになって大きく成長したと思います。ユリウスでの少人数クラスで学ぶことが娘には本当に合っていて、勉強を楽しいものと感じているようでした（もちろん大変でもありましたが）。これからますます楽しい6年間を過ごしてほしいと思っています。

Kさん 保護者

## 「最後まであきらめない事の大切さ」

小学校3年生から日能研に通い、受験勉強を始めましたが、4年生から勉強が難しくなって、クラスについていけなくなり、退塾しました。その後、1年間通信教材で少し勉強する程度で、中学受験をするのが悩んで過ごしました。姉がユリウスに通って、私立中学に進学が決定した事で、5年生から本人もユリウスに通うことにしました。

個別指導なので、あまりタイトなスケジュールではなく、余裕を持って過ごせました。指導者の先生方がとても親身で、子どもに寄り添った進捗で向き合っていていただき、楽しく通塾できました。たわいもない先生との会話も、息抜きになっていた様でした。6年生の夏までは受験を自分の事と捉えていない様な感じで、気持ちは推し活やゲーム等に向いていました。夏期講習からやっとやる気スイッチが入り、受験勉強に真剣に取り組む様になりました。結局、最後まで公開模試の成績は低迷したままでしたが、秋に志望校を決定してから過去問をたくさん解いて、志望校対策に励みました。

2月1日、午前、午後ともに不合格。午後は手応えがあり、もう大丈夫だねと言って笑って家族で帰宅しましたが、結果にとっても落ち込みました。2日目、全落ち回避のため、当初の受験校から変更し、午前

校を受験。見事合格をいただきました。本当に涙が出てしまい、ほっとしました。2日目の合格が安心材料となり、3日目、4日目の再チャレンジで、本命の2校に合格し、その1つに進学を決めました。我が子ながら本当に良く頑張り、感心させられました。最後まであきらめない事の大切さを学びました。最後にユリウスの先生方に心から感謝しています。ありがとうございました。

Kさん 保護者

## 「心の成長ができた受験」

4年生からお世話になりました。算数に苦手意識も強く成績が伸び悩んだ時期もありましたが、塾長をはじめ先生方が、娘の苦手な単元をわかるまで根気強くみて下さいました。

また、ユリウスに来ることが楽しくなるようにと、和やかな雰囲気作りもしてくださったおかげで、ユリウスが大好きになりました。お陰様で第一志望の合格をいただくことができました。ありがとうございます。娘も、塾長、先生方に大変感謝しておりました。合格だけでなく、心の成長が出来たことも親としては大変に有難く思っております。

Kさん 保護者

## 「自分の努力で成果を勝ち取る経験」

4年生の2学期に日能研に入塾。育成テストや公開模試の振り返りにて、正答率50%以上の設問の解き直しを目標として取り組むも、親子で取り組むことが難しい設問も出てきたのと子(娘)が「算数をもっとできるようになりたい」と希望し、5年生の10月に入塾。算数をお願いしました。

日能研の本科、期間講習、特に6年生では教材が切り替えることが多かったので、どのように復習して次の授業に繋げるか、切り替わるタイミングの時に苦労しました。一度の授業で日能研数回分の復習を一気にしなければ間に合わないものもあったので、1週間の学習スケジュールノートを作り、ユリウスでみていただくところをできるだけ具体的に記載し、(例：栄冠●●ページの間2(1)、授業プリントの間3(3)、など)授業開始時に娘が先生に見せて授業をスタートするようにしました。次第にリズムがとれるようになったのと、日能研のスパイラル学習が娘に合っており、公開模試の偏差値としては凸凹がありましたが、得意・不得意分野を本人が自覚し、「時計算が分からないから、次の授業で長めにやってほしい」等、娘が授業で取り扱ってほしい分野を申告するようになりました。

勉強を、受験のためだけにするのではなく、中学進学後の学びに繋げることができました。疲れがたまっていた時には、思いきって勉強を中断する決断を親がすることで、娘は罪悪感なく身体を休めていました。受験を通じて、やればできた、という体験を得られたと思います。人生で初めて、自分の努力で成果を勝ち取る経験をしたでしょうから、娘の印象に鮮明に残る大切な経験になったと思います。今後、学びの積み上げを楽しむ姿が楽しみです。本当によく頑張ってくれました

ユリウスでは本当にきめ細やかに丁寧に教えていただきました。娘は苦手な分野を学ぶ日であっても、一度もユリウスに行きたくないと言ったことはありませんでした。ユリウスに通ったおかげで算数は娘の武器になりました。

Mさん 保護者

## 「受験を経て別人のように成長」

クラス落ちの瀬戸際にいた6年生の夏前、ユリウスさんへ入塾しました。本人は頑張っていました、やはり小学生が自力で苦手に向き合うのは精神面でとても難しいことでした。丁寧な先生のご指導により、まず国語が急激に伸びました。自信を失くしていた子供に、声かけや指導を通じて、自信と笑顔を取り戻させてくれた事が、嬉しかったです。

その後も熱心な先生の指導に子供も応えようと勉強への姿勢も変わり、第一志望のチャレンジ校へ向け過去間に何度も取り組みました。ユリウス過去問指導を受けていなければ、家でここまで数をこなす事は無理であったと思います。

本番も何度もチャレンジを重ね、最後まであきらめずに受験に臨んだ結果、第一志望と同じくらいか、それ以上の憧れの学校の合格を頂きました。

夏にはとても繊細なメンタルでへそを曲げる事の多かった子供が、受験中はとても冷静でたくましく成長して別人のようでした。合格後は、「ありがとう」とよく言葉に出すようになり、朗らかな生活態度になり本当に成長しました。

Mさん 保護者

## 「あっという間の受験生活」

娘が中学受験に興味を持ち、受験をしたいと話さずようになってからの約3年間は長いようであったという間でした。最初に入塾した教室での授業の早さやクラスの雰囲気合わず1年弱で退塾することになってしまい悩んでいた時、お友達のお母さんから「ユリウス」という塾を教えてください、お友達と一緒に体験授業をお願いしたところ、娘が楽しかった！と話していたためこちらの塾に入塾することに決めました。

お友達も一緒に入塾したので、私としては安心して通わせることができました。5年生の時に興味があった中学校の体験授業を何校か体験に行き、娘は早い段階で志望校を決めていたため、6年生になってからは過去問をひたすら解き毎日毎日頑張っていました。

本番入試を受け第一志望校に合格することは出来ませんでした、志望していた学校で合格をいただけたので、娘も安堵しております。春の入学式を楽しみに、中学生になる娘をこれからも全力で応援していきたいと思います。

Tさん 保護者

## 「好きなことに夢中になって努力すること」

6年生になるタイミングでユリウスに転塾をしました。勉強と野球を両立しながら受験に挑むため、でしたが、逆に野球を中断した秋直後は集中力を欠き、成績が落ちた時期もありました。

親が色々口を出す日々が続きましたが、本人も自覚が芽生えたのか最後の2ヶ月くらいは親の目から見ても頑張っていました。また、先生方が息子の進度に合わせたカリキュラムを最後まで丁寧に作ってください、それが大きな支えとなったことで、やりきったという気持ちをもって受験当日を迎えるこ

とができたと思います。

第一希望とはいきませんでしたでしたが、2校から合格を頂きました。本人の希望した、野球を目一杯できる学校に春から進みます。合格したことはとても嬉しいですが、それ以上に大切なのはこれから自分の好きなことを見つけ、夢中になって努力すること。受験を通じて培った力を、次の挑戦に生かしてほしいです。

Oさん 保護者

## 「コツコツと目標や夢に向かって頑張った」

親子で初めて入試を体験し、今も思えばあっという間だったような気がします。無事に受験することができ、第1志望の学校に合格でき、本当に貴重な体験をすることができて良かったです。

中学受験を考えるようになって、塾に通い始めましたが、当時は（小4）、授業～復習・宿題をこなしていくのみでした。学年があがるにつれて難しくなる授業内容や増える宿題をこなすのが大変になってきました。小学6年の夏季講習頃から、受験生の自覚を持ってくれたのかな？と思えるようになり、見守ることが多くなりました。好きな教科、苦手な教科の取り組み方が全く違ってきてたので、小6の9月からユリウスに通い始めました。とても丁寧に教えて頂き、少しずつ苦手教科が楽しくなってきたと言っていました。

日々、コツコツと目標や夢に向かって頑張った娘をととても誇らしく思います。たくさんの先生方に支えられ応援して頂いたことにも感謝いたします。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

Oさん 保護者

## 「全てがご縁だった」

息子が受験を意識し始めたのは小学3年生後半頃です。軽い気持ちで日能研の体験授業に参加しました。楽しかったようでそのまま入塾することに。塾の雰囲気や周りのお友達との関わりの中で徐々に受験を意識していったように思います。最初のうちは志望校が決まらず、とりあえず家から近く、大学附属という条件で何となく塾に通いました。が、確固たる目標もないままどんどん授業は難しくなり、通塾日数も増え、徐々についていけなくなりました。6年になってすぐ、ついに体調不良になり、受験を断念することになりました。やはり見えない目標というのが良くなかったのかもしれない。3年生の頃から他にしたい事がまんして頑張って通塾してきたのに、本人も不本意感で一杯でした。ところが2ヶ月程経った頃、急にまた受験にトライする！と言い出し再開することに。しっかり休養することでなんと持ち直したのです。そこで出会ったのがユリウスでした。日能研での通塾歴を見ることも出来、短いスケジュールにも関わらず先生は的確なプランを提案して下さいました。本人が気に入った学校も見つかり、受験も無理のない範囲で進められたと思います。途中でとぎれず最後まで走り切る！これが最高の結果となりました。気に入った学校、本人に合った塾、タイミング、全てがご縁だったと思います。どんなに辛い時期があったとしても必ずご縁があります。思い通りじゃなくともそれはご縁なのです。終わってみて一番思うことです。

Oさん 保護者

## 「最後まで信じて支える」

息子は勉強を進んでするタイプではなく、一時中学受験を断念しようと思いました。しかし、本人の「受験したい」という強い気持ちを受け、サポートすることを決意しました。

しかし、家庭では教えるのが難しく、日能研の算数と理科の復習フォローをお願いしました。先生方の根気強く、丁寧な指導のおかげで、少しずつ苦手を克服していく姿がありました。

過去問演習ではなかなか合格点が取れず、親としても心配な日々。志望校再考も頭によぎりながら、ユリウスの先生と連携し、子供のモチベーションを維持するように努めました。1月中旬頃、1回だけ合格点に達し、希望が少し見えました。

1月のお試し受験は不合格となり、大きなショックを受けました。本人は気持ちを切り替え、勉強をしていました。親は不安でした。

迎えた2月1日。午前中に、第1志望校を受験し、午後にもう1校受験しました。そして当日の夜19時。ネットで第1志望校の合格発表を確認すると、息子の番号がありました。その瞬間、子供と「やった〜」と叫びました。本当に嬉しくて安堵し、それまでの苦労や不安が一気になりました。息子のとびきりの笑顔が輝いていました。

その後、チャレンジ校にも挑戦しましたが、不合格でした。それでも、「やりきった」という達成感がありました。

中学受験は親子ともに大変な挑戦でした。途中で諦めそうになることもありましたが、「最後まで信じて支える」ことの大切さを改めて実感しました。

1さん 保護者

## 「寄り添ってくれたユリウス」

娘が中学受験をしたい、と言ったのは4年生の12月でした。

とりあえず12月に集団塾の冬期講習に体験代わりとして行ってみようか、ということで体験。そのまま頑張りたい、というので2月からその集団塾に通い始めました。ところが、気分屋の娘はやる気があったりなかったり、当然成績も思うように伸びません。

夏頃に成績が少しあがってきたかな、と思った矢先の秋口、今度は反抗期と通塾のストレス、塾での友達関係のストレスが重なり、塾を休むことが増えてきました。冬期講習はほとんど休んでしまい、受験そのものを辞めてしまうか、2科目に変更して負担を軽くするか、それとも転塾するか、冬の間は何度も娘と話をしましたが、なかなか結論が出ませんでした。

2月になり、娘の結論は受験は辞めたくない、であったため、転塾先を検討。集団塾も個人塾も嫌、ということだったので、少人数クラスのあるユリウスへ転塾することに決めました。6年生になる直前の春期講習の少し前からNリーグの少人数クラスに通い始めました。ユリウスのクラスは4人だったのですが、娘以外の3人のうち2人が同じ小学校だったこともあり、すぐに馴染みました。また、4人で勉強することが楽しかったらしく、今までが嘘のようにユリウスに元気に通うようになりました。

ユリウスでは体調不良の際には個人への振り替えも対応していただけるので、最初は嫌がっていた個人授業にも違和感なく、馴染んでくれました。

ユリウスの先生方のおかげで少しずつ成績がアップし、12~1月になって、苦手な算数でも少しずつ問題も解けるようになりました。

自分で受験をしたいと決めたわりには、気分屋で集中力に欠ける娘は、秋から始まった過去問演習でもなかなか合格最低点に達することが出来ず、志望校の過去問では1回しか合格最低点をとれないまま、2月1日を迎えました。

2月1日の午前入試で志望校の合格をいただいたときは、娘と大喜びしました。寄り添ってくださったユリウスの先生方のおかげです。どうもありがとうございました。

Tさん 保護者

## 「奇跡の逆転合格」

我が家は娘が「私も中学受験したい」と言ったことが始まりでした。3年生の2月に日能研に入塾し、成績も上がり応用クラスに上がることができました。ところが5年生の夏頃から算数が難しくなり授業についていけなくなってしまったのです。

近所の個別指導塾で算数のフォローをお願いするも、塾が合わずやめてしまいました。そして苦手な算数に引きずられるように得意科目の理科、社会の成績も下がっていきました。反抗期も重なり、勉強の話しをすると、耳をふさいでしまったり、トイレに引きこもり出てこなかったり、テスト勉強どころか、宿題すらやらなくなってしまいました。当然ですが、転がり落ちるように一番下のクラスに落ちてしまいました。「勉強が嫌なら受験やめてもいいんだよ。」と私が言う「絶対やめたくない。」と何度も娘と衝突しました。親子ともに限界でした。そしてユリウスに入塾したのです。

娘は優しく、勉強だけでなく、色々話を聞いてくれるお姉さんのような先生が合っていたようです。それでもなかなかやる気が起きないまま冬休みを迎えました。他の子はメモチェを2周、3周する中、娘は1周目すら終わりません。漢字や計算、過去問にも手が回らない状況に親はハラハラドキドキでした。ユリウスの塾長は娘と一緒にスケジュールを考え進めて下さいました。そして苦手な算数が少しずつ理解できるようになったのです。

1月11日埼玉入試・・・結果は不合格

娘は不合格になると思っていなかったようです。

1月14日 娘から「日能研に行けない」「部屋から足が出ない」「受験やめたい」とメールが届きました。

2月の受験本番まで2週間、それでも不安とプレッシャーから娘は限界だったのです。私は仕事で電話ができなかったので「今までいろんなことを我慢してここまで続けてこれだけでもすごいことだと思う。努力は無駄にならないから、どういう決断をしても責めたりしないよ。ただ後悔だけはしてほしくない。だからもう一度よく考えてみたらどう。」とメールを返信しました。すると一時間後「やっぱり受験は諦めたくない。」とメールが届きました。

2月入試本番

残念ながら第一志望校に合格することはできませんでしたが、第二、第三志望校には見事に合格。そして2月2日の午後は第三志望校を受験予定でしたが、前日に合格をいただいていたので、持ち偏差値+13で全く志望校ではなかった学校にチャレンジすることを前夜に決定しました。結果は合格。気づけば3校の合格を勝ち取ることができました。まさに奇跡の逆転合格です。

娘の場合、一番大事な6年生が反抗期と重なり、親のサポートが必要な中学受験ですが、見守ることしかできませんでした。そんな中、ユリウスの先生方には勉強だけでなく、スケジュール管理、メンタルケア等、様々な面で支えていただきました。何度も相談にのっていただき感謝しかありません。本当にありがとうございました。

Sさん 保護者

## 「努力は裏切らないんだ」

私たち家族にとって2度目の中学受験でした。長女の時にもユリウスにはお世話になって、その時の反省も踏まえて次女は早めにユリウスに入塾させて、苦手教科の算数の補強をしていただくことにしましたが……。6年生の夏が終わっても成績が上がってくることはありませんでした。志望校どころか、どこにもいけないのかもしれないという考えもよぎっていました。もう中学受験やめた方がいいんじゃないかと……。でも、一切弱音を吐かないでユリウスに通う娘を信じていくことにしました。

12月に娘が言ったことがあります。「算数頑張っているんだけど、全然点数取れないんだよね。」こんな弱音を吐くことがなかったのに。相当辛いんだなと思い、「大丈夫だよ、今はたくさん解き方をため込んでいる時で本番で出せばいいんだよ。」と声をかけました。

冬期から本番直前までかなり密度高くユリウスに通い、実力を上げるべく頑張った娘。1月受験、1勝1敗で本当は気落ちしていたはずなのにそんなそぶりを見せずでしたが、親もユリウスの先生も諦めないという気持ちを更に高め、本人もそれに応えるように最後まで努力を惜しまず頑張りました。この時期は日能研のテストがないので実力がどの程度ついているのかわからなかったですが、ユリウスの先生と相談して夏の終わりから家でやっていた、計算問題を1日1問必ず解く、の正答率が劇的に上がっていることを親が感じていました。途中式を書くのを面倒くさがっていたのに、しっかり書くようになったりと、ユリウスで習ったことを忠実にやるようになったからだと思います。

2月1日の入試直前、会場に向かう電車の中でも見直しをしていました。試験会場の学校に着いて歩いて行く娘、「決心した」姿にみえて神々しくさえありました。もう十分頑張ってきた娘に「頑張って」という言葉は似つかわしくなく、「楽しんでおいで」「ぶちかましてこい」と送り出しました。結果はどうかあれ、全力でぶつかってきてほしいという気持ちでした。親の自分がしてあげられることはもう何もないなど。意外にも落ち着いていました。

受験を終えて、合流した娘がキラキラした目で開口一番、「簡単だった！算数、最後の1問以外全部解けた！」と言ってきました。「それはよかったね！」手応えは大切ですが、12月の娘の偏差値や1月の受験の結果から考えるとそんな簡単に合格をいただけるはずがないから、ここはひとまずいい気持ちのまま午後受験に向かいました。向かう電車の中でも、見直しをしていきました。午後受験は午前受験で全力を出し切ったのと、問題が難しかったのもあって全然ダメだったと。本人は偏差値の低い午後受験のできなかったことで、志望校の午後もダメなのかもしれないと思い始めていました。

家に帰り、結果発表をパソコンで見ることになりました。志望校の結果を本人のクリックでとしましたが、さすがにさっきの午後受験が散々だったから、午後もダメかもという気持ちもあり、1時間クリックできずにいましたが……。最後は心を決めてクリック……………。

「受かった！！！！！！」飛び上がって喜ぶ娘！家族も飛び上がり、抱き合い、歓喜です！大逆転の合

格をいただきました。これは奇跡なんかじゃなく、実力です。この実力を付けたのは、紛れもなく最後まで頑張った娘本人。ですが、最後の最後まで叱咤激励して下さったユリウスの先生がいたからこそです。時には優しく、時には厳しく。その指導のおかげでこの合格をいただくことができました。本当にありがとうございました。感謝しかありません。

娘が合格発表の後、うれし泣きの最中に言った言葉があります。「努力は裏切らないんだ・・・。」この言葉に娘の成長を感じました。

これからどんな人生が彼女に待っているかは誰にもわかりません。ただ、この経験がきっとこの先の人生にプラスになることでしょう。

ユリウスの皆様、本当に娘に本人の望む、新しいキラキラした世界のスタートラインに立たせて下さいまして本当にありがとうございました！！

最後に、私たち家族に「新しい暖かな風」を運んできてくれた娘に「ありが、さとう」。「意志あるところに、道は開ける」体現してくれたね。あなたのガッツに脱帽です。

Sさん 保護者

## 「諦めないこと、自信を持つこと」

我が子は人見知りや激しく、集団塾での授業はわかったつもりになっていても、疑問点をなかなか先生に聞けなかったことから、週1回お世話になることになりました。

指導していただいた先生は、集団塾の先生よりも年齢が近く、子にとってよきお兄さんお姉さんのような存在。家での宿題は遅々として進みませんでした。塾での授業では集中して取り組むことができ、とても楽しかったようです。

途中、集団塾を休会しユリウスで細々算数を見ていただいていたのですが、天王山といわれる6年の夏休み期間中は通塾が一切できなくなりました。オンライン授業も本人は拒否。これはもう受験しないだろうと親は思い既に気持ちを切り替えていたのですが、なんと本人は受験を諦めておらず、秋からようやく息を吹き返し通塾を再開。最後の2か月は、担当の先生をはじめ多くの方に細かいところまでフォローしていただき、漢字や歴史の史実の順番、理科の計算問題など、本人の苦手分野を辛抱強く見ていただきました。体力的に午前午後受験も難しいのではないかと考えていたのですが、蓋を開けてみれば予定していたスケジュールで全て受験。希望の学校に合格することができました。

小学校高学年になると、多感な時期で不安定なことが多いもの。子はまさにその典型例で通学も通塾も最後まで安定しませんでした。ユリウスの先生方に親身にご対応いただけて、本人の自信にもつながりました。当日欠席も多く、先生方に多方面でご迷惑をおかけした我が家のケースは非常に稀だとは思いますが、諦めないこと、自信を持つことで結果につながることを身をもって体験しました。

子供によって勉強のスタイルは様々です。その子の特性を汲み取り、その子に向かい合ってくれた先生方に感謝しております。本当にありがとうございました。

Aさん 保護者